

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2020年6月18日(木)13:30～15:00 懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

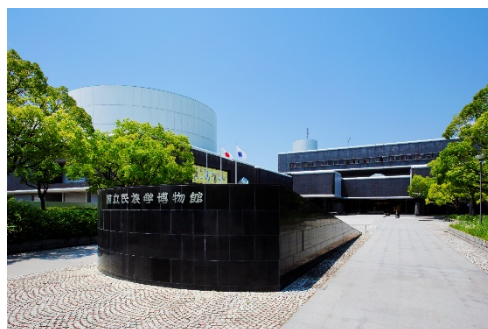
— 園田 直子 (議長)—

3. 国立民族学博物館の再開にあたって

[詳しくはこちら](#)

当館では、新型コロナウイルスによる感染症の拡大を防止する観点から、2月28日以来、臨時休館を続けてまいりましたが、6月18日(木)に本館展示を再開いたします。

吉田館長からの再開にあたってのメッセージと、本館の取組について説明させていただきます。



— 吉田 憲司 (館長)—

4. トーテムポールの立ち上げについて

みんなくクラウドファンディング「世界とつながるトーテムポールをカナダ先住民のアーティストと造ろう」により、温かいご支援を賜りましたトーテムポール制作プロジェクトですが、3月上旬にバンクーバーまで陸送され、4月1日に大阪港に到着、4月10日にみんなくに運び込まれました。

トーテムポールは6月24日に立ち上げを行うこととなりました。この立ち上げについて説明させていただきます。



— 吉田 憲司 (館長)—

5. 新任紹介

東京藝術大学大学院で博士号を取得後、琉球大学教育学部を経て現職。専門分野は音楽民族学。インドの鍵盤楽器文化や楽器産業、また近年はインド北東部少数民族のポリフォニーの歌唱文化を研究。



— おかだ えみ 岡田 恵美(人類基礎理論研究部 准教授)—

総合研究大学院大学を単位取得退学後、滋賀県立大学を経て現職。後に博士号(文学・総合研究大学院大学)取得。専門は文化人類学・モンゴル地域研究。主にシヤーマニズム、チングス・ハーン表象、ポピュラー音楽、チベット・モンゴル仏教実践などを研究。



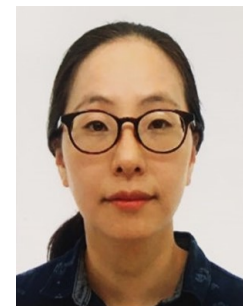
— しまむら いっぺい 島村 一平(超域フィールド科学研究部 准教授)—

筑波大学大学院で博士号を取得。東京文化財研究所客員研究員、国際協力機構大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト専門家、関西大学国際文化財・文化研究センターPD、民博機関研究員を経て現職。博物館資料の保存・管理に関する実証的研究、中国の石窟寺院を対象とした研究に携わる。



— すえもり かおる 末森 薫(人類基礎理論研究部 助教)—

奈良女子大学大学院で博士号を取得後、みんぱくの外来研究員として研究に従事。専門は医療人類学。韓国の「産後風」という病いを事例として、バイオメディカルなパラダイムの中で伝統医学の病い、病いの文化的な構築などについて研究。



— テツ ソジ 諸 昭喜(学術資源研究開発センター 助教)—